

取扱説明書

※図の時計はイメージです。
実際の商品と異なる場合があります。

操作ボタン位置参照図



通常時刻表示



製品仕様

- 平均月差±60秒以内(適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 使用温度範囲:5℃~35℃
- 電池寿命:新品電池を入れてから約1.5年(1日にELライト1回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

■使用電池:リチウム電池 CR2025 x 1個

■製造国:中国

防水機能について

■本製品は10気圧防水です。

※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×



ボタン操作のご注意

水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。

機能

- 時計
- カレンダー
(曜日・日・月・西暦表示)
- EL全面ライト
- ストップウォッチ
(ラップ・スプリット150メモリー)
- データ機能
- タイマー ■5アラーム ■時報
アラーム・時報マークはモデルによって異なります。
本説明書では、左図のマークを採用しています。
- デュアルタイム(第2時刻表示)

注意:第2時刻表示中は
アラームは作動しません。

各モードへの切り替えについて

通常時刻表示の状態から下図の順でボタンを押すとモードが切り替わります。

1 通常時刻表示

時・分・秒/日・曜日表示
時刻設定変更

2 ストップウォッチ機能

1/100秒計測
150ラップ・スプリット計測
最大計測時間:9時間59分59秒

3 データ機能

ラップ・スプリット
記録データ読み取り

4 タイマー機能

タイマー操作
タイマー時間の設定
設定時間範囲:
1秒~23時間59分59秒

5 時報機能

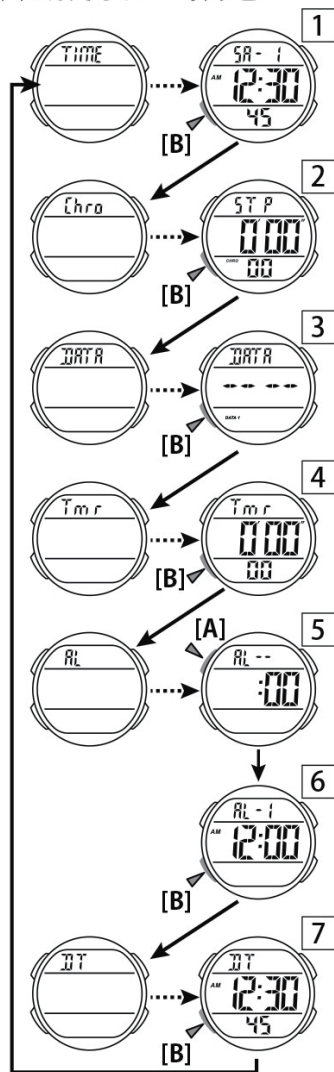
時報入・切(ON/OFF)設定

6 アラーム機能

アラーム時刻設定
(5つの時刻設定可能)
アラーム入・切(ON/OFF)設定

7 デュアルタイム表示機能

第2時刻表示
第2時刻設定変更



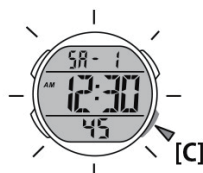
EL全面ライト

[C] ボタンを押すとELライトが約3秒間光ります。

※時刻・タイマー・アラームの時間設定中、及びデータ機能表示中は、ELライトは光りません。

注意: ELライトは電気を多量に消耗します。
多用されると電池寿命が短くなります。
必要最小限のご使用をお勧めします。

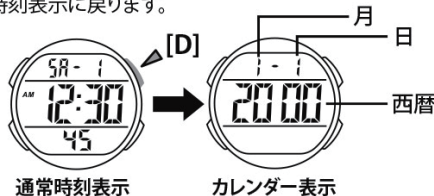
注意: 電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。
ELライト点灯時に液晶表示が薄くなったり表示が点滅したりします。
故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。



1 通常時刻表示

カレンダーの見方

通常時刻表示の時は「曜日」と日付を表示しています。
[D] ボタンを押すと「西暦」と「月・日」が表示されます。
[D] ボタンを押しながら「秒」が表示されます。
離すと通常時刻表示に戻ります。



時刻設定の変更のしかた

- 通常時刻表示の状態では[A] ボタンを約3秒間押します。「秒」が点滅します。
[C] または [D] ボタンを押すと「秒」が「00」に戻ります。
- [B] ボタンを押すごとに、「秒」→「時」→「分」→「西暦」→「月」→「日」→「12/24時間表示」の順に点滅が切り替わります。
- 点滅時に[D] または [C] ボタンを押して設定を変更します。
[D] ボタンを押すと進み、[C] ボタンを押すと戻ります。
※長押しすると早送りできます。
- ②・③の手順で、設定をする部分を点滅させて変更します。
- 西暦は2000年～2099年まで設定できます。
曜日は自動設定です。西暦・月・日の設定に合わせて自動で切り替わります。
※うるう年も自動で切り替わります。
- 12/24時間設定で、[D]が[C]ボタンを押して「12時間表示」か「24時間表示」を設定します。

※12時間表示設定の時は、[AM/PM]表示が出ます。

※24時間表示設定の時は、[AM/PM]表示が出ません。

- [A] ボタンを押して設定を終了します。

※注意：点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して時刻設定を終了します。

2 ストップウォッチ機能

計測表示の見方



基本操作

- [D] ボタンを押してスタートします。
- [A] ボタンを押してストップします。
- 再度[D] ボタンを押すと計測を継続します。

最大計測時間：9時間59分59秒

※最大計測時間に達すると自動で計測を停止します。

- [A] ボタンを押してストップした状態で再度[A] ボタンを押すとリセットされます。

スプリットタイム(SPL)とラップタイム(LAP) 計測

※スプリットタイム計測はスタートから各区間までの積算時間(合計時間)を計測します。



※ラップタイム計測は周回や区間の時間を計測します。



- [D] ボタンを押してスタートします。
- 再度[D] ボタンを押すとスプリットとラップタイムを同時に記録します。この時、表示画面にはスタートからその時点までのスプリットタイムが約3秒間表示され、自動で計測表示に戻り、計測は継続します。

※計測中は常に現在のスプリットタイムが表示されます。
※計測中にラップタイム(各区間の記録)とスプリットタイム記録を見る場合はデータ機能に切り替えて見るができます。
3 データ機能を参照してください。

- ②の操作を行う度に計測を記録します。
計測は最大150回までメモリー(記憶)できます。
スプリットタイムとラップタイムの両方がデータに記録されます。

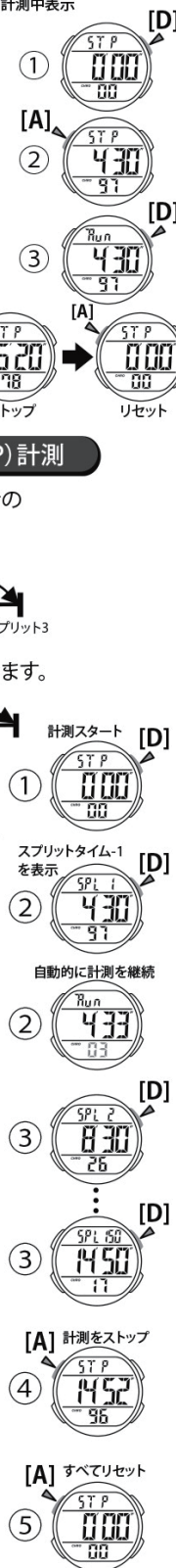
重要

ストップを押した際に表示されている記録はデータに記憶されません。最後の計測を記録する際は、[D] ボタンを押して最終計測を記録してください。

- [A] ボタンを押してストップします。
- 計測停止状態で再度[A] ボタンを押すとリセットされます。

重要

注意：リセットをすると計測記録がすべて消去されます。

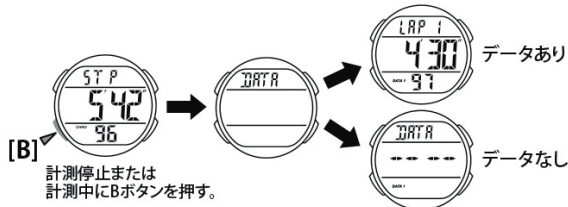


3 データ機能

記憶した計測記録を見ることができる機能です。
計測中にも見ることができます。

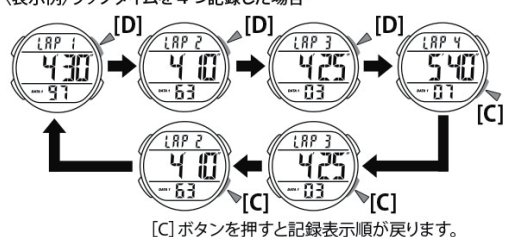
ラップタイム (LAP) のデータ読み取り

- ① ストップウォッチ計測を**ストップした状態または計測中**から、
[B] ボタンを1回押して「データ機能」を表示させます。
計測記録がある場合は、ラップタイム1 (LAP 1) から表示されます。



- ② [D] ボタンを押して各ラップタイム記録を読み取ります。
[C] ボタンを押すと記録表示順を戻します。

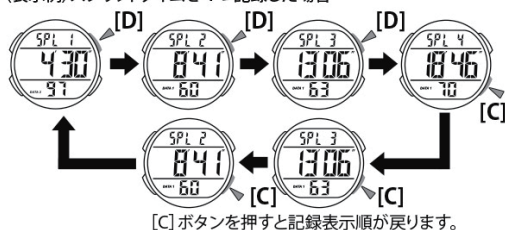
〈表示例〉ラップタイムを4つ記録した場合



スプリットタイム (SPL) のデータ読み取り

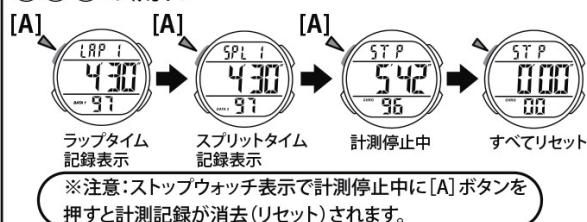
- ③ ラップタイム記録表示から[A] ボタンを1回押すと
スプリットタイム記録を「SPL 1」から表示します。
※どのラップタイム記録表示からでも[A] ボタンを押すと
スプリットタイム記録表示へ切り替わります。
- ④ [D] ボタンを押して各スプリットタイム記録を読み取ります。
[C] ボタンを押すと記録表示順を戻します。

〈表示例〉スプリットタイムを4つ記録した場合



- ⑤ [A] ボタンを押すとストップウォッチ表示に戻ります。
※どのスプリットタイム記録表示からでも[A] ボタンを押すと
ストップウォッチ表示に戻ります。

③④⑤の流れ



- ⑥ 再度、計測記録を見る場合は上記操作①～⑤を行ってください。

データの消去 (リセット)

ストップウォッチ表示で計測を停止にした状態で[A] ボタンを押すと表示が「0'00"00」に戻り、計測記録は消去されます。

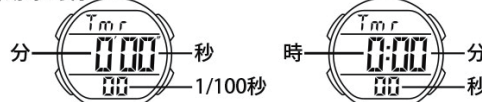
4 タイマー機能

設定した時間が経過するとアラームが約60秒間鳴ります。

タイマー時間の設定

設定時間範囲: 1秒～23時間59分59秒

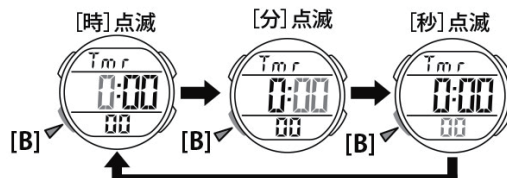
タイマー作動時の表示



設定範囲: 1秒～59分59秒

設定範囲: 1時間0分0秒～23時間59分59秒

- ① タイマー機能表示の状態から[A] ボタンを約3秒間押します。
設定時間の「時」が点滅します。



- ② [B] ボタンを押すごとに、[時]→[分]→[秒]の順に点滅が切り替わります。

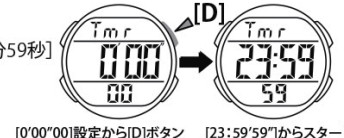
- ③ 点滅時に[D] または[C] ボタンを押して時間設定を行います。
[D] ボタンを押すと進み、[C] ボタンを押すと戻ります。

※長押しすると早送りできます。

- ④ [A] ボタンを押して設定を確定させます。

※注意: 点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了してタイマー機能表示に戻ります。この時、途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して設定を終了します。

- ⑤ 「0'00"00」の設定から
スタートすると「23時間59分59秒」
から開始します。

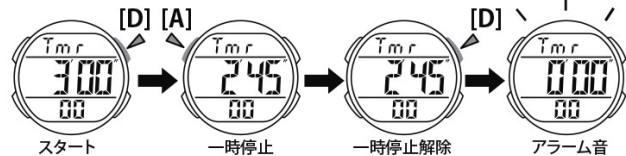


タイマーの使い方

タイマー時間を設定したら、[D] ボタンを押してスタートします。

一時停止は[A] ボタンを押してください。

[D] ボタンを押すと一時停止を解除します。



設定時間のカウントが0'00"00になると、アラームが約60秒間鳴ります。
アラーム音はどのボタンを押しても止めることができます。

重要

タイマーを使用する際は、毎回時間設定が必要です。

操作①～④の手順で時間設定をしてください。一度、時間設定をした後は前回の設定時間が表示されます。前回と同じ時間設定を確定する場合は①の操作の後に再度[A] ボタンを押すと同じ時間で設定を完了します。

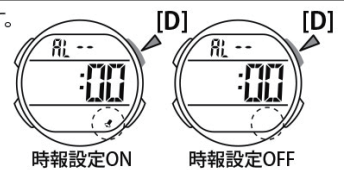
5 時報機能

毎時正時にチャイム音が鳴ります。

時報 設定の入・切

時報設定モードにします。

右図の表示の時に[D] ボタンを押して設定の入/切 (ON/OFF) を行います。



マークが表示されている場合は、時報設定が入り (ON) です。

マークが表示されていない場合は、時報設定が切り (OFF) です。

6

アラーム機能

*アラーム音は約60秒間鳴ります。

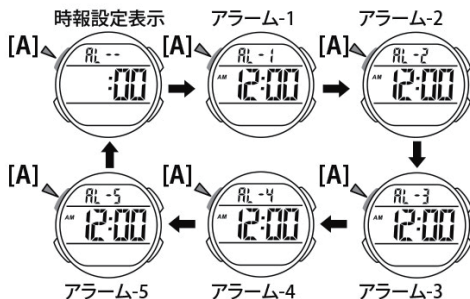
毎日、設定時刻にアラームが鳴ります。

アラーム時刻は最大5つ設定できます。

*アラーム音はどのボタンを押しても止めることができます。

アラーム時刻設定とアラーム入・切 (ON/OFF)

- ① 時報設定表示から[A]ボタンを押してアラーム設定モードにします。
1つ目のアラーム時刻設定画面が表示されます。
下図の様に、「AL-1」が表示されます。
[A]ボタンを押すごとに下図の順に表示が切り替わります。



- ② 各アラーム時刻設定画面の時に、再度[A]ボタンを約3秒間押すと「時」が点滅を開始します。
[D]ボタンを押すと「時」が進みます。
[C]ボタンを押すと「時」が戻ります。 ※長押しすると早送りできます。
- ③ 次に[B]ボタンを押すと「分」が点滅を開始します。
[D]ボタンを押すと「分」が進みます。
[C]ボタンを押すと「分」が戻ります。 ※長押しすると早送りできます。
- ④ ③④で時間を設定したら、最後に再度[A]ボタンを押して設定を確定させます。
- ⑤ 複数のアラーム時刻を設定する場合は、②～⑤の手順を行ってください。

アラーム入・切 (ON/OFF)

※注意:アラーム入・切の設定は必ず各アラーム時刻設定ごとに行ってください。

アラームの入・切 (ON/OFF)は、各アラーム時刻設定画面ごとに[D]ボタンを押して設定します。
アラームを入 (ON)にする時は、アラームマークを表示させます。
アラームを切 (OFF)にする時は、アラームマークを消します。
また、②のアラーム時刻設定の操作をした際に自動的にアラームが入 (ON)設定になります。



※注意:アラームは設定時間が早い順に作動します。
アラーム番号順ではありません。

※注意:点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了してアラーム時刻設定画面に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

7

デュアルタイム表示機能

通常時刻表示とは別に第2時刻を表示することができます。

第2時刻の時間設定

注意:第2時刻は、アラーム設定時刻と連動していません。
アラーム設定時刻になってもアラーム音は鳴りません。

- ① 第2時刻表示の状態で[A]ボタンを約3秒間押します。
「時」が点滅します。 [B]ボタンを押すと「分」が点滅します。
- ② 点滅時に[D]または[C]ボタンを押して設定を変更してください。
[D]ボタンを押すと進み、[C]ボタンを押すと戻ります。
※「分」の設定は30分単位でのみ ※「時」の設定時に長押しすると早送りできます。
- ③ [A]ボタンを押して設定を終了します。

※注意:第2時刻表示の時は、カレンダーは表示されません。
また、[D]ボタンを押してもカレンダーは表示されません。

※注意:点滅時に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して第2時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。